

2009年9月27日(日) 14:00~17:00 (13:30開場)

食料自給率 39%、食の安全性への不信と不安、地域経済の疲弊・・・グローバル化した経済のもとでの農業・農村そしてわたしたちの食をとりまく状況はたいへんに厳しいといわれています。

そんななか、「人と人との結びつき」を大事にしながら、自然資源と風土を活かした豊かな地域づくりの取り組みが、日本の各地で実践されています。農村女性たちによる農家レストラン、学校給食の地産地消、農の実践と持続可能なライフスタイルへの転換など、地域に暮らす人たちがともに知恵を出し合い、経済的にも成り立つ循環を創りだしているのです。

いのちを支える食べものと、それを支える農の現場からのメッセージから、わたしたちの食と農、地域、人と人の関係のありかたをともに語りましょう。2009年11月7~10日に開催されるアジア連帯経済フォーラムに向けての学習会でもあります。

講演

大野和興さん × 塩見直紀さん × 本田節さん

農業ジャーナリスト

半農半X研究所代表

農村レストラン

「ひまわり亭」オーナー

参加費

一般 500円

大竹財団会員、アジア連帯経済フォーラム

2009賛同者(個人・団体とも)は無料

定員

200名(予約優先)

メール、ホームページ、お電話にてご予約ください

主催

財団法人大竹財団

アジア連帯経済フォーラム 2009

会場

在日本韓国YMCAアジア青少年センター
地下1階 スペースワイ <裏面地図参照>

東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL:03-3233-0611

地域のか、人のか

～ 食と農の現場から語る「連帯経済」～

 お問い合わせ・お申し込み

アジア連帯経済フォーラム2009

Tel 03-5209-3450 afse@parc-jp.org <http://solidarityeconomy.web.fc2.com>

財団法人 **大竹財団**

Tel 03-3272-3900 <http://www.ohdake-foundation.org>